

令和 7 年 6 月 17 日

令和 6 年度 鹿島山北高等学校の運営・評価について

山北町教育委員会
教育特区推進室

令和 6 年度 鹿島山北高等学校の運営・評価について以下のとおり報告する。

- 1 学校の教育・運営に係る評価について
- 2 地域貢献について
- 3 町事業への支援体制について
- 4 その他
- 5 全体評価

- 1 例年通り、面接指導は、山北町で宿泊を伴うプログラム（3泊4日）を 17 回実施した。集中受講により、時間的なメリットが大きいとの声も例年通りである。高校卒業資格の取得、学力の錬成に加え、基本的な生活習慣、公德心、コミュニケーション力を身に付ける良い機会になっていることも変わりはない。宿泊には、教職員も同宿し、全般的な指導・監督をしていることから、保護者・生徒の信頼を得ている。学校設定科目である山北町に係る種々の講座（農業・林業・観光・福祉）は、講師、生徒、地元の方々からも好評価を得ている（2で後述）。生徒からは、各分野が地域社会、ひいては国全体の問題に全て繋がっていることを認識したとの声があった。今後も問題意識を持ち続けてほしいと願う。
令和 5 年度の卒業後の進路決定率は 83% 余。100% の実現に向けて継続して努力してほしい。
今年度は、生徒数及び収益で若干の伸びが出てきた。ようやく、ある程度、学校の良さが認識されてきたことの現れと考えている。日本私学教育研究所の資料によると、令和 6 年度、全国の全日制・定時制高校は 4,774 校、生徒数は 2,906,921 人（一校当の平均在籍数は 609 人・鹿島山北は 550 人前後）。18 歳以下人口の減少が進み、公立学校の統廃合が進んでいる状況を鑑みると、定員の確保は厳しい状況が続くことが予測される。早い時期に定員に近づき、純利益を上げ、幅広く投資できるようになってほしい。
- 2 令和 6 年度は、昨年度に比して在籍者も若干増え、関係各所の利益に僅かながらではあるが貢献できている。また、学校設定科目における現実的な貢献の一例として、林業で、指導のもと、生徒が伐採した間伐材を切り分け、その木材を使い林道の整備（土止め）の作業まで行い、地元の方からも大いに喜ばれた。
一番の地域貢献は、この学校での学びや経験がきっかけとなり、将来、山北町に居住し、各分野で就労し、良き納税者となり、地域を牽引する人材になってくれることである。大いに期待している。
- 3 令和 6 年度は、町事業は例年通り開催され、多くの参加者で賑わった。学校には場所の提供だけでなく教職員の方々にも協力いただいた。一昨年「山北のお峰入り」がユネスコ無形文化遺産に登録されたが、後継者が乏しい。室生神社の流鏝馬、世附の百万遍念仏も同様である。若者が名乗りを上げてくれることを望んでいる。町としても、魅力的な行事の企画立案が求められる。生徒に、積極的に参加を促してほしい。
- 4 「教育」は、本当に難しい業種である。教員は常に判断を迫られる。是か非かと。究極のところ、人間関係に尽きるのではないだろうか。これで完成ということはない世界である。その意味で次項の全体評価は永遠に A にはなり得ないのではなかろうか。それ故、理想の完成形に向けて継続的に努力してほしい。改めて、将来を担う有能な人材を育成する場として広く認知され、入学者が増えることを常に期待している。
- 5 B

令和6年度 鹿島山北高等学校 教育特区推進室評価表

1/3

項 目		評 価 基 準	評 価	備 考 及 び 改 善 目 標
教育課程・ 学習指導	授業等の状況	生徒の興味・関心を尊重した授業の進め方と学級経営	B	プロジェクターの導入により、授業の効率化が進んだ。引き続き、創意工夫を続けてほしい。
		体験学習の実施と地域の人材活用	B	特に林業の体験学習において、地域在住の講師の指導のもと、間伐材を使用して林道の整備をおこなっている。
		学習指導要領の遵守と地域特性の活用	B	学習指導要領は遵守されている。引き続き、地域特性を活用できる学校設定科目のさらなる展開を期待する。
	教育課程等の状況	体験学習、学校行事などの管理・実施体制	B	安全を第一に管理・運営されている。
		年間指導計画の編成及び適正な時間割	A	適正に組まれている。
		補充的学習時間の設定及び発展的学習の実施	B	発展的学習において、山北町の特色を中心に引き続き検討を加えてほしい。
キャリア教育		組織的、計画的にキャリア教育に取り組む体制	B	鹿島学園のキャリア・サポート室と連携して取り組んでいる。
		生徒の学籍台帳及び成績台帳等の個人的資料の管理	A	
		社会的・職業的自立のための体系的・系統的な指導	B	進学・就職共にできれば決定率を100%に近づけてほしい。各教員の体験談は良い刺激になっているようである。
		保護者や地域社会との連携協力の状況	B	できれば、保護者には一度山北町にも来てほしい。町とは、講師選定・行事参加等々で協力関係にある。
		職場体験活動や就業体験活動の状況	B	就職希望か否かに関わらず、参加を促してほしい。
生徒指導	生徒指導の状況	緻密な生徒指導の体制	B	カウンセリングに全教員が対応している点は評価。
		出席、遅刻・早退のデータ管理と指導体制	A	データ管理面で問題はない。指導体制も、複数の教員で個々の生徒を注視して対応している。
	人格的発達のための指導	基本的な生活習慣を身につけさせる工夫	B	社会性の育成を、宿泊施設及び学校において実践している。
		社会人としての勤労、公德心意識等の指導の状況	B	学校設定科目、宿泊施設、学校生活において、さらなる指導を期待している。
保健管理		地域の保健・医療機関等との連携の状況	A	学校医は南足柄医師会の紹介。歯科医、薬剤師は山北町在住であり、連携状況は良好。
		健康管理と健康診断の実施の状況	C	年1回の健康診断の受診、健康診断書のすみやかな提出を徹底させるようにしてほしい。

項 目		評 価 基 準	評 価	備 考 及 び 改 善 目 標
安全管理		学校事故等の緊急事態発生時の対応	A	年1回の抜き打ちの避難訓練、AED使用の講習会を実施している。緊急事態発生時にも対応できるものとする。
		危機管理マニュアル等の作成・活用の状況	A	
組織運営		校務分掌等の機能性と運営・責任体制の整備	B	退職職員の補充に伴い、以前に比して、若干の連携不足があった。
		計画・執行・決算・監査に至る財務運営の状況	B	財務面での継続的かつ大きな黒字化を期待する。
		職専免研修の承認状況、服務監督の状況	B	大きな黒字化で人員を増やせれば、一人あたりの時間的な余裕が生まれるはず。早く人員が増やせるように。
		各種文書や個人情報等の管理の状況	A	
資質向上の取組		校内研修・校外研修の実施・参加状況	B	大きな黒字化で人員を増やせれば、一人あたりの時間的な余裕が生まれるはず。早く人員が増やせるように。
		授業改善の取組の状況	B	プロジェクターの利用がはじまり、授業の効率化により講師・生徒双方に時間的な余裕が生まれた点を評価。
教育目標・ 学校評価	教育目標の設定と 自己評価の実施	自己評価の実施と改善の状況	B	様々な観点から改善に向けての努力を継続してほしい。
		学校の状況を踏まえた教育目標の設定の状況	B	目標・理想の実現に向けて引き続き努力してほしい。
	学校関係者評価の 実施状況	第三者評価の実施状況	A	
		第三者評価の結果の設置者への報告の状況	A	
	生徒・保護者の意見・ 要望等の状況	教育相談体制の整備状況	B	カウンセリング研修を受けた職員がいることを生徒・保護者に伝えてほしい。
		生徒・保護者の授業満足度等の評価把握の状況	B	非常勤講師にもフィードバックしてほしい。
情報提供		学校に関する情報の提供状況	B	教職員、講師、生徒、保護者、山北町の方々に取材して、広く情報を提供してほしい。
		学校評価結果の公表状況	A	
		情報提供手段の工夫とホームページの活用	B	年間を通して、学校及び山北町の情報をもっと提供してほしい。

項 目		評 価 基 準	評 価	備 考 及 び 改 善 目 標
保護者、地域住民等との連携		地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源の活用状況	B	2023年にユネスコの無形文化遺産に登録された「山北のお峰入り」を新たに活用してほしい。酒水の滝、簗杉等は、学校設定科目で活用している。
		授業等における地域の人材など外部人材の活用状況	B	今後も広く地域の人材を継続して活用してほしい。
教育環境の整備	施設・設備	施設・設備の活用状況	B	旧小学校校舎は一部ギャラリー、大学の研究図書の開架に使用するなど活用がはじまっている。
		設置者と連携した施設・設備の点検、整備の状況	B	
	教材・教具等	設置者と連携した教材・教具・図書の整備、充実	B	予算に限りはあるが、さらなる充実化を進めてほしい。

1. 「A＝良好である」「B＝特筆すべき改善点はない」「C＝改善すべき点が見受けられる」
最終的に教育長及び教育特区推進室で取りまとめた。
2. 上記評価は、令和6年4月1日～令和7年3月31日までの1年間を対象としている。